

2010年3月期 決算説明会

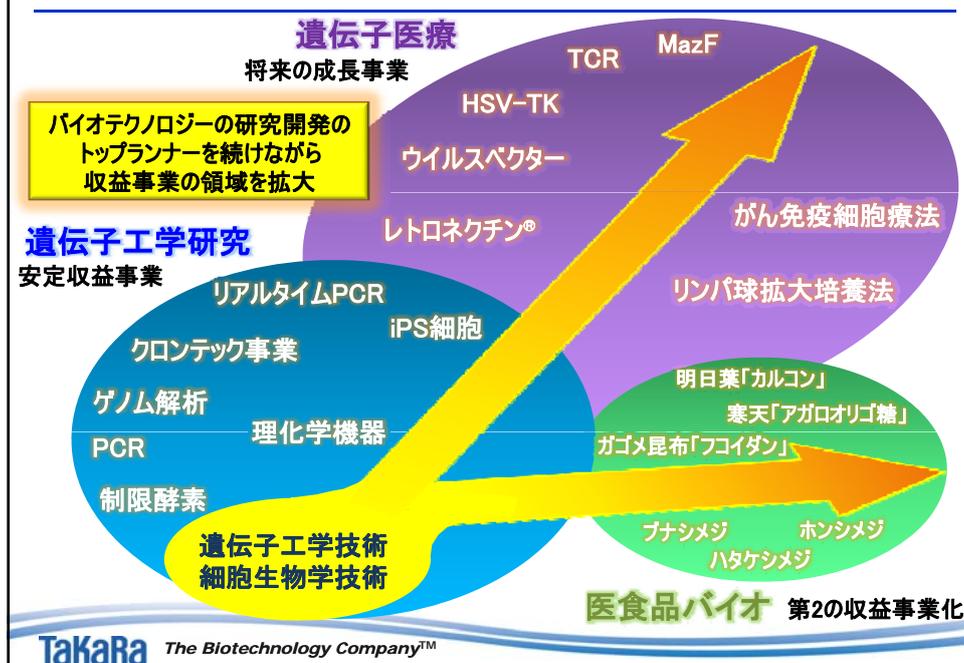
業績レビュー

今後の重点戦略および施策

2010年5月17日

タカラバイオ(株)社長 仲尾 功一

タカラバイオグループの基本戦略



10/03期 連結業績

(単位:百万円)

	10/03期	1/29計画比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	19,325	+405	+2.1%	+411	+2.2%
売上原価	9,286	+360	+4.0%	+312	+3.5%
売上総利益	10,039	+44	+0.4%	98	+1.0%
販売費及び一般管理費	9,485	▲43	▲0.5%	▲27	▲0.3%
営業利益	553	+88	+19.0%	+126	+29.7%
経常利益	864	+164	+23.5%	+513	+145.9%
当期純利益	591	+91	+18.2%	▲51	▲8.0%

TaKaRa The Biotechnology Company™

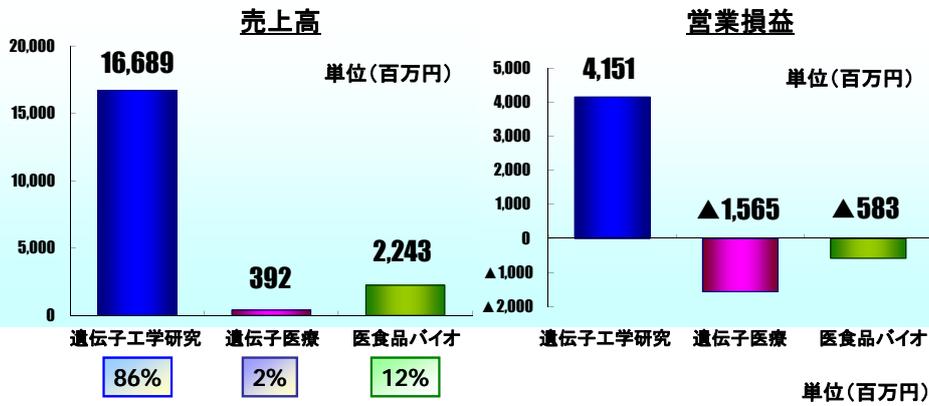
10/03期 セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円)

	10/03期	1/29計画比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	11,163	+5	+0.0%	▲743	▲6.2%
理化学機器	2,756	+122	+4.6%	+579	+26.6%
受託	1,782	+139	+8.5%	+8	+0.5%
その他	986	+16	+1.7%	+111	+12.7%
遺伝子工学研究	16,689	+282	+1.7%	▲44	▲0.3%
遺伝子医療	392	+42	+12.0%	+226	+136.4%
健康食品その他	794	+77	+10.9%	+163	+25.9%
キノコ	1,449	+1	+0.1%	+66	+4.8%
医食品バイオ	2,243	+79	+3.7%	+229	+11.4%
売上高合計	19,325	+405	+2.1%	+411	+2.2%

TaKaRa The Biotechnology Company™

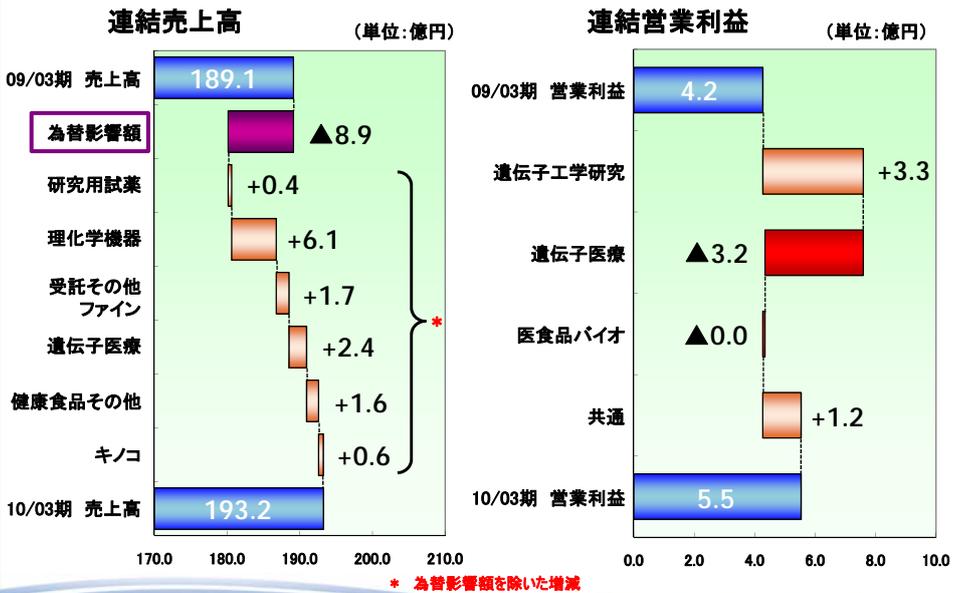
10/03期 セグメント情報(連結)



	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	9,436	165	438	▲0	10,039
研究開発費	870	1,599	649	175	3,294

TaKaRa The Biotechnology Company™

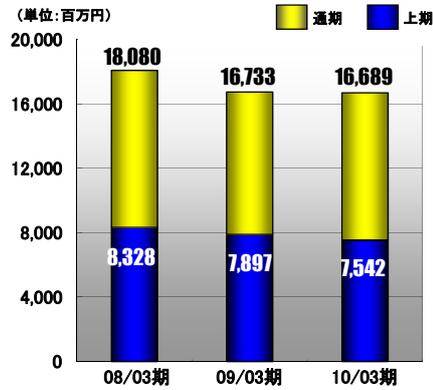
10/03期 売上高・営業利益(連結) <前期比増減>



TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント別売上高(連結) 遺伝子工学研究分野

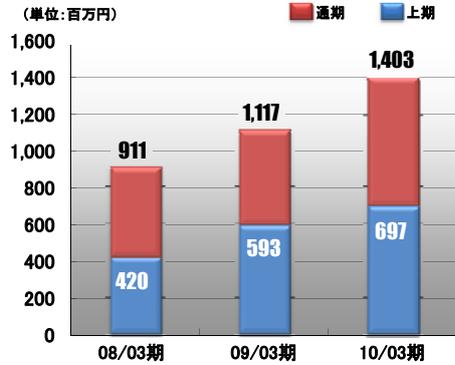
◆ 連結売上高



10/3期実績

- ・為替の影響(▲7.9億円)等による研究用試薬の売上減少(前期比▲7.4億円)
- ・理化学機器の売上増加(前期比+5.7億円)

◆ 中国国内 売上高



◆ クロンテック社製品の外部売上高

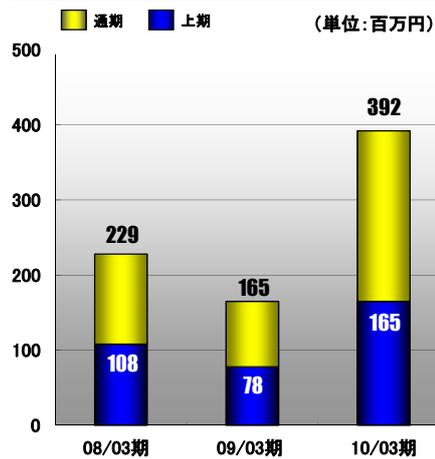
(単位:百万円)

	09年3月期実績	10年3月期実績
合計	5,093	4,366

為替の影響(▲4.6億円)等を含む売上減▲7.2億円

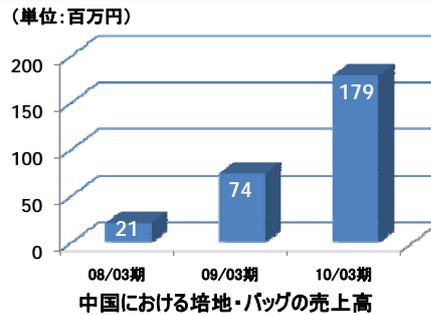
TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント別売上高(連結) 遺伝子医療分野



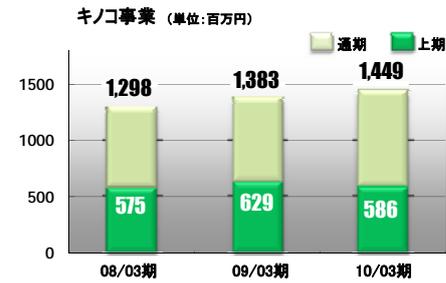
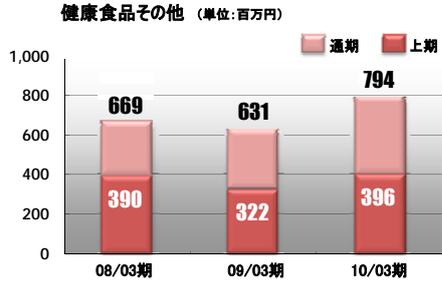
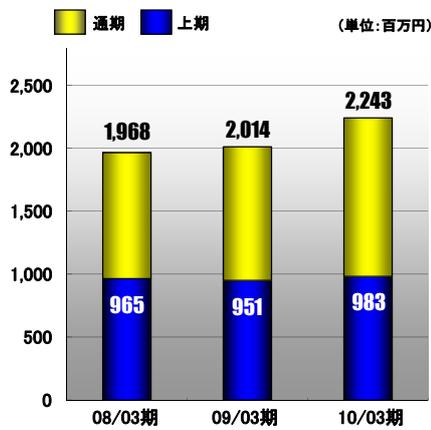
10/3期実績

- ・中国でのがん免疫細胞療法向け培地・バッグの売上増加
- ・百万遍クリニックへの技術支援サービスの売上増



TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント別売上高(連結) 医食品バイオ分野



10/3期 実績

- ・フコイダン等の健康志向食品の売上増 (前期比+1.6億円)
- ・キノコ事業の売上増 (前期比+0.6億円)

TaKaRa The Biotechnology Company™

タカラバイオ株式会社

中期経営計画

2013年3月期までの業績目標

TaKaRa The Biotechnology Company™

タカラバイオグループ連結業績目標

- 昨年5月発表の中期経営計画を1年前倒し、11/03期に経常利益10億円を計画。
- 医食品バイオ分野で、12/03期に営業黒字化を目指す。
- 13/03期に売上高 215億円、経常利益 12億円を目指す。

(単位:百万円)

	11/03期予算	12/03期計画	13/03期計画
売上高	19,350	20,200	21,550
営業利益	800	950	1,100
経常利益	1,000	1,150	1,200
当期純利益	600	720	750
研究開発費	3,060	3,250	3,600

セグメント別
営業利益

	11/03期予算	12/03期計画	13/03期計画
遺伝子工学研究	4,140	4,265	4,591
遺伝子医療	▲1,583	▲1,781	▲1,973
医食品バイオ	▲256	46	123
共通	▲1,500	▲1,579	▲1,641

TaKaRa The Biotechnology Company™

タカラバイオグループ セグメント別 売上目標 (連結)

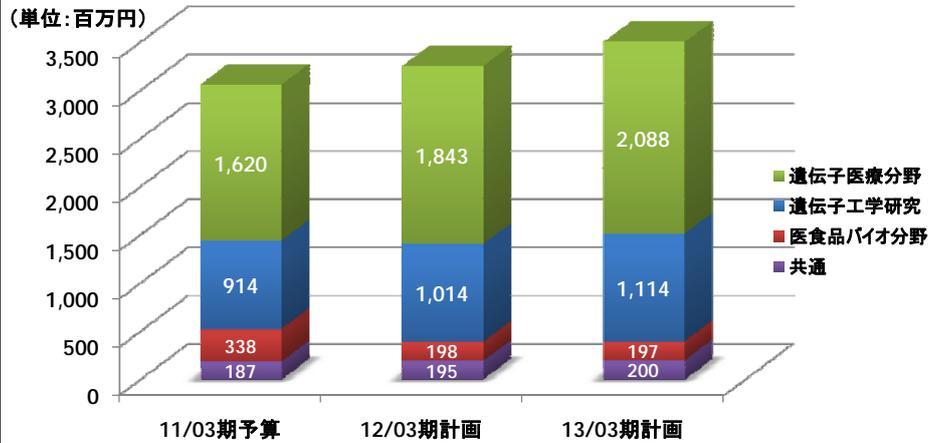
(単位:百万円)

	11/03期	12/03期	13/03期
研究用試薬	11,411	12,098	13,141
理化学機器	2,333	2,333	2,333
受託	1,871	1,971	2,071
その他	979	947	947
遺伝子工学研究	16,595	17,350	18,493
遺伝子医療	384	471	591
健康食品その他	609	565	641
キノコ	1,760	1,813	1,824
医食品バイオ	2,370	2,378	2,465
売上高 合計	19,350	20,200	21,550

- 遺伝子工学研究分野: リアルタイムPCR分野、エピジェネティクス分野、細胞生物学分野における新製品・新サービスの開発・売上拡大
- 遺伝子医療分野: がん免疫細胞療法の支援サービス及び中国でのリンパ球培養用培地の売上拡大
- 医食品バイオ分野: 宝ヘルスクア社との連携強化や機能性食品素材のアプリケーションデータ利用による売上拡大と、キノコ事業の自社販売による売上拡大

TaKaRa The Biotechnology Company™

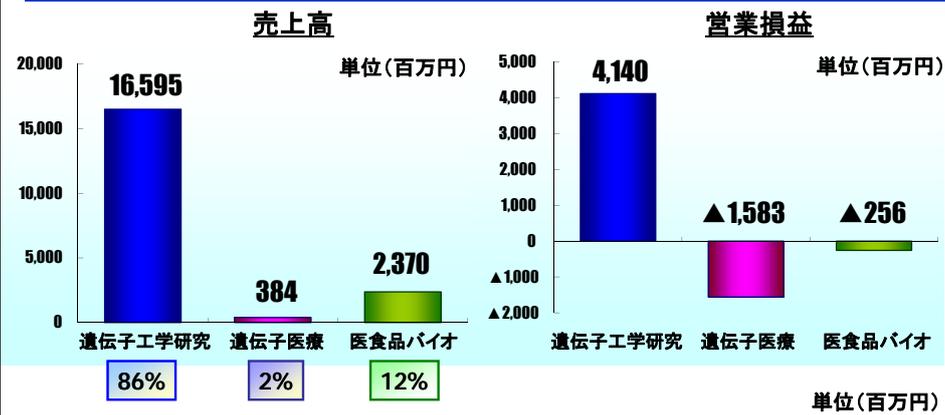
研究開発費(連結)



- 遺伝子工学研究分野: 新製品・新サービス開発のため、年間1億円増加させる。
- 遺伝子医療分野: 臨床開発プロジェクトの進捗に合わせ、増加させる。
- 医食品バイオ分野: 2010年4月に組織の統廃合及び他セグメントへの人員異動を行った。効率的に研究開発投資を行い、12/03期より約2億円へ。

TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント情報(連結) (11/03期 予算)



	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	9,592	160	476	0	10,229
研究開発費	914	1,620	338	187	3,060

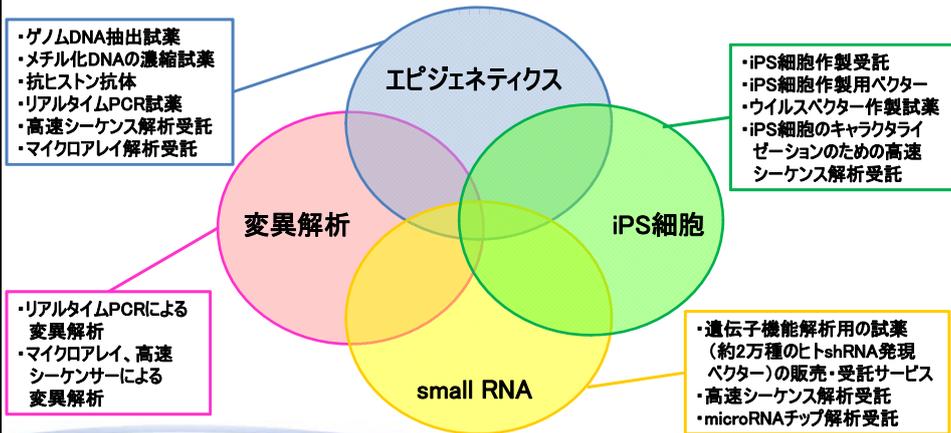
TaKaRa The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子工学研究分野(Ⅰ)

① 「遺伝子工学」から「細胞生物学(Advanced Cell Biology)」へ

・エピジェネティクス、iPS細胞、変異解析、small RNA関連分野における新製品開発強化

Advanced Cell Biologyの注力分野



Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子工学研究分野(Ⅱ)

② 「研究支援(Academic research)」に加えて、「産業支援(Industrial use)」に拡大

・PCR、リアルタイムPCR技術をアプリケーションフィールド(食中毒菌等の微生物検出)に応用
 ・高速シーケンス解析受託の企業向け売上の拡大
 ・品質管理・保証の強化によるB to Bの売上拡大

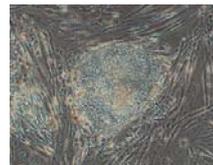
PCRアプリケーションフィールドのターゲット分野

- ◇食品衛生(食中毒菌検出)
O-157、サルモネラ、カンピロバクター、ノロウイルス、セレウス菌など
- ◇工程管理
・HACCPシステムによる製造・加工工程の微生物汚染検査(バクテリア・微生物など)
・原材料などの偽装防止(肉種判別、コメ品種判別など)
- ◇環境衛生
レジオネラ検出など



企業向け受託の拡大

- ◇高速シーケンス解析受託
- ◇iPS細胞作製受託
- ◇ウイルスベクター関連受託
- ◇遺伝子合成・タンパク質発現受託



iPS細胞

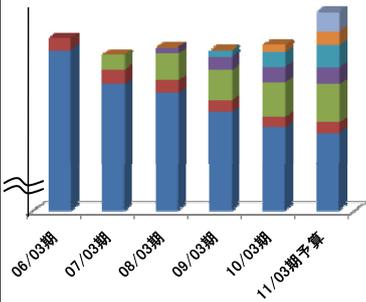
Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子工学研究分野(Ⅲ)

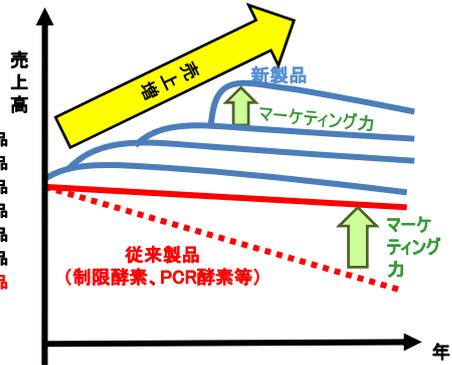
3 マーケティング力の強化(営業の技術革新)

- ・マーケティング体制を強化し、製品別の細やかな施策、Webマーケティング、新規顧客層獲得、品質保証体制の強化を行う。

研究用試薬・新製品の
国内年間売上高



- 11/03期新製品
- 10/03期新製品
- 09/03期新製品
- 08/03期新製品
- 07/03期新製品
- 06/03期新製品
- 06/03期既存品



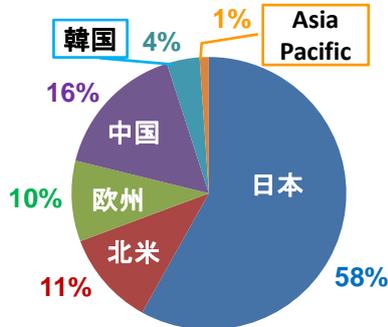
Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子工学研究分野(Ⅳ)

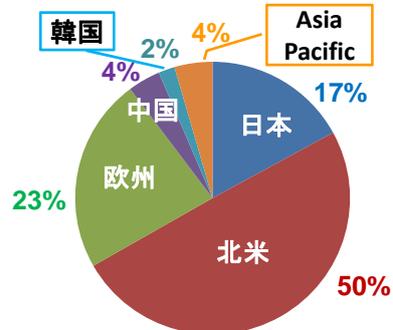
4 欧米、Asia Pacific地域における海外売上への拡大

- ・タカラバイオブランドの欧米、Asia Pacific地域におけるマーケティング強化
- ・クロンテックブランドのAsia Pacific地域でのマーケティング強化

Takaraブランド
研究用試薬



Clontechブランド
研究用試薬



Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子工学研究分野(V)

5 研究開発の生産性の向上

・タカラバイオとクロンテックとの研究開発シナジーに加え、宝生物工程(大連)有限公司での酵素工学(Enzymology)を中心とした研究開発を強化

タカラバイオ・クロンテックの10/03期 新製品・新サービス

TAKARA BIO INC.

・PCR・リアルタイムPCR

- PrimeScript® One Step RT-PCR Kit Ver.2 (Dye Plus)
- MightyAmp® for Real Time (SYBR® Plus)

・核酸抽出

- CellAmp® Whole Transcriptome Amplification Kit

・iPS細胞

- Human iPS Cell Generation® All-in-One Vector
- iPS細胞作製受託

・アプリケーションフィールド

- CycleavePCR® *Campylobacter* Typing Kit

・ウイルスベクター

- Lenti-X™ Concentrator



・遺伝子導入

- Xfect™, Xfect™ Stem

・エピジェネティクス

- EpiXplore™ Methylated DNA Enrichment Kit

・クローニング

- In-Fusion™ SMARTer™ cDNA Library Construction Kit

クロンテック社製品の外部売上高(単位:百万円)

	10/03期実績	11/03期予算
合計	4,366	4,219

11/03期 予算

為替の影響(▲2.9億円)による売上減▲1.4億円

Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 医食品バイオ分野(I)

1 2012年3月期での営業黒字化

- ・宝ヘルスケア社との更なる連携強化により売上拡大を目指す。
- ・売上増及び効率的な費用投下による12/03期の営業黒字化を目指す。

2 販売促進や製品化に直結するアプリケーションデータの取得

- ・機能性食品素材の販売促進や製品化に直結するヒト試験等のアプリケーションデータの取得。

ガゴメ昆布「フコイダン」

- ・免疫活性化応用研究
- ・抗インフルエンザ作用の研究
- ・美容用途(肌・育毛)の提案強化



明日葉「カルコン」

- ・アディポネクチン産生促進を中心とした抗メタボ作用の応用研究



寒天「アガロオリゴ糖」

- ・抗炎症作用の応用研究
- ・抗関節炎、美容用途の提案強化



ヤムイモ「ヤムスゲニン®」

- ・運動機能向上作用の研究
- ・ボタンボウフウ「イソサミジン」
- ・血管機能改善作用の研究
- ・きのこ「テルペン」
- ・抗腫瘍作用の研究

Takara The Biotechnology Company™

事業分野別施策 医食品バイオ分野(Ⅱ)

3 キノコの自社販売体制の確立・コストダウン

- ・キノコの自社販売体制を確立し、単価を維持しつつ売上拡大を目指す。
- ・新技術導入によるコストダウンを実施し、12/03期の黒字化を目指す。

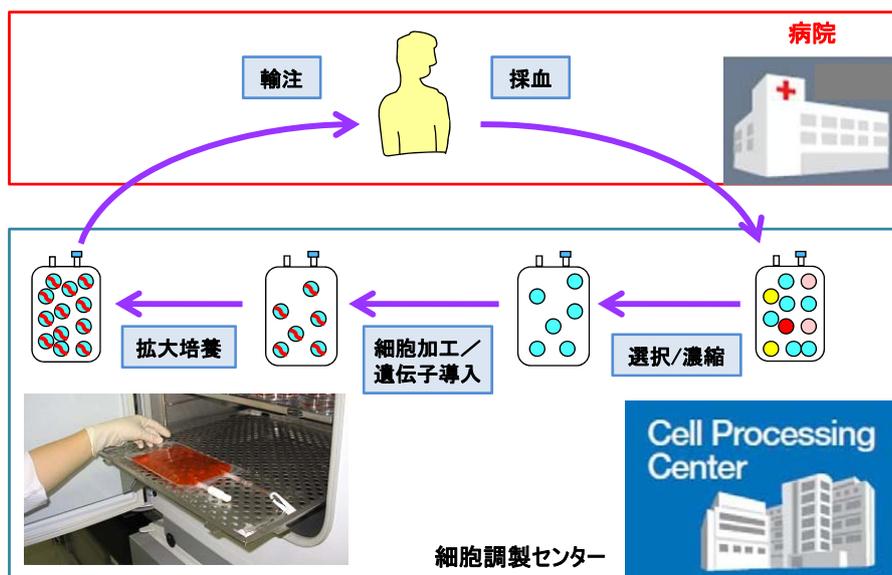
- 自社販売体制の強化によるハタケシメジ・ホンシメジの売上増
- 新技術導入によるコストダウン
- 燗きのこセンター金武の黒字継続
- 瑞穂農林㈱の11/03期の黒字化
- マツタケなどの高付加価値キノコの大量栽培・生産技術の開発

		10/03期実績	11/03期予算
ハタケシメジ	売上	5.9億円	8.4億円
	生産量	約1,300トン	約1,500トン
ホンシメジ	売上	1.9億円	2.5億円
	生産量	約105トン	約121トン
ブナシメジ (きのこセンター金武)	売上	1.3億円	1.3億円
	生産量	約250トン	約250トン



TaKaRa The Biotechnology Company™

遺伝子治療・細胞医療 将来像

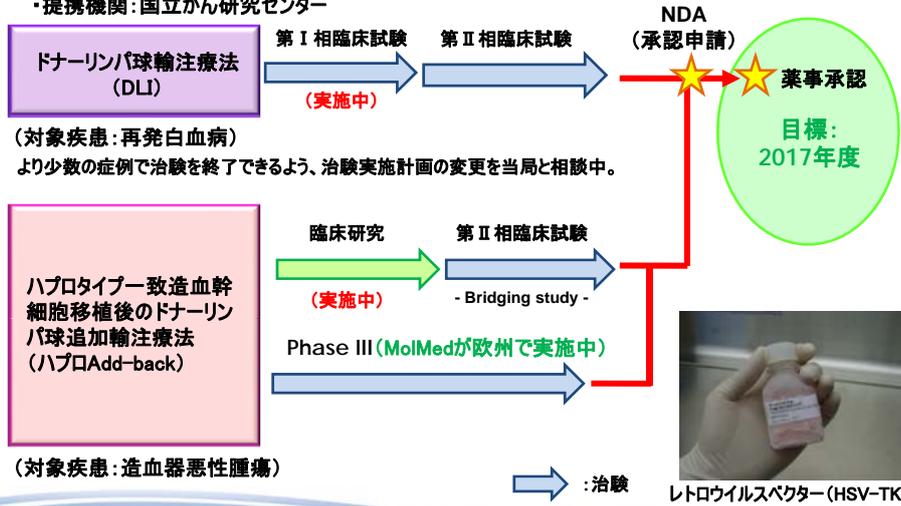


TaKaRa The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子医療分野(Ⅰ)

① HSV-TK遺伝子治療の商業化に向けた目標

- ・HSV-TK遺伝子治療の2017年度の薬事承認を目指す。
- ・提携機関：国立がん研究センター



TaKaRa The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子医療分野(Ⅱ)

② TCR遺伝子治療の治験開始に向けた目標

- ・TCR遺伝子治療 (siMA24(RN-T)、siWT24(RN-T))の臨床研究について、三重大学にて2012年度の開始を目指す。
- ・siMA24(RN-T)、siWT24(RN-T)の臨床研究結果を見極め、2013年度に治験開始を目指す。

プロジェクト名	レトロウイルスベクター	抗原	HLA	対象疾患	臨床研究
① wtMA24	従来型ベクター	MAGE-A4	A24	食道がん	臨床研究(実施中)
② siMA24 (RN-T)	siRNA技術を用いた次世代ベクター	MAGE-A4	A24	食道がん	臨床研究 → 第Ⅰ相臨床試験 (2013年度)
③ siWT24 (RN-T)	siRNA技術を用いた次世代ベクター	WT1	A24	脳腫瘍 造血器腫瘍 大腸がん	臨床研究 → 第Ⅰ相臨床試験 (2013年度)

siRNA技術を用いた次世代ベクター

次世代ベクターを使用してT細胞に遺伝子導入することで、がん抗原を認識するTCRをより多く発現するT細胞が得られる(特許出願中)。

RN-T

遺伝子導入細胞の拡大培養時にレトロネクチン拡大培養法を使用。

TaKaRa The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子医療分野(Ⅲ)

3 MazF遺伝子治療の米国での臨床試験開始に向けた目標

- ・MazF/HIV遺伝子治療の臨床試験を、米国で2011年度に開始することを目指す。
- ・臨床試験実施申請(IND申請)に必要な動物試験、遺伝子導入細胞のGMP製造の検討、FDAとのpre-INDミーティング等を実施。

機関	主な役割	
タカラバイオ	統括 ウイルスベクターGMP製造	
ペンシルベニア大学	非臨床試験(マウスモデル等) 遺伝子導入細胞試験製造	
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科	非臨床試験(in vitro有効性)	
医薬基盤研究所 霊長類医科学研究 センター	非臨床試験 (in vivo安全性、in vivo有効性)	

TaKaRa The Biotechnology Company™

事業分野別施策 遺伝子医療分野(Ⅳ)

4 レトロネクチン®誘導Tリンパ球療法のエビデンスの蓄積と有償治療による普及

- ・京都府立医科大学、天津医科大学、中山大學などで、臨床研究によるエビデンスを蓄積しつつ、有償治療による普及を目指す。
- ・医聖会 百万遍クリニック(京都市)で「レトロネクチン®誘導Tリンパ球療法」の有償治療を2010年5月13日より開始。
- ・がん免疫細胞療法支援サービスで、11/03期は1.5億円の売上を目指す。

5 中国におけるがん免疫細胞療法向け培地売上の拡大

- ・宝日医生物技術(北京)有限公司におけるリンパ球培養用培地の新工場の稼働(2010年7月予定)
- ・中国におけるがん免疫細胞療法向けのリンパ球培養用培地やバッグ類の販売拡大を目指す。

京都府立医科大学におけるレトロネクチン®誘導
Tリンパ球療法臨床研究結果(2010年5月7日発表)
対象疾患: 消化器がん、肺がん
症例数: 9例
細胞投与数: 1×10^9 、 3×10^9 、 9×10^9 (各3例)
結果: 重篤な有害事象は認められず。
CR: 1例、PR: 1例、SD: 4例、PD: 3例



TaKaRa The Biotechnology Company™

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：バイオインダストリー部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

参考資料

【参考資料】

会社別業績

(単位:百万円)

	従業員数**	09年3月期実績		10年3月期実績		11年3月期予算	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ(単体)	354	13,244	538	13,954	752	14,442	905
瑞穂農林	15	587	▲216	704	▲59	756	7
タカラバイオファーマーミングセンター	0	11	▲1	25	4	53	1
きのこセンター金武	8	135	12	135	22	134	13
Takara Bio Europe*	22	1,816	214	1,546	224	1,562	191
宝生物工程(大連)*	464	2,048	446	2,285	609	2,309	543
宝日医生物技術(北京)*	26	399	36	539	75	507	0
Takara Korea Biomedical*	25	579	87	495	109	483	51
Clontech Laboratories*	125	4,845	▲198	4,297	▲339	4,038	▲132
計	1,039						

** 従業員数は、2010年3月31日現在

* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、表の数値は各年1-12月実績



【参考資料】

セグメント情報(連結) 1

単位(百万円)

	遺伝子工学 研究	遺伝子 医療	医食品 バイオ	共通	計
<10/03期>					
売上高	16,689	392	2,245	▲1	19,325
売上総利益	9,436	165	438	▲0	10,039
販売費及び 一般管理費	5,284	1,730	1,021	1,449	9,485
内、研究開発費	870	1,599	649	175	3,294
営業利益	4,151	▲1,565	▲583	▲1,449	553
<11/03期>					
売上高	16,595	384	2,370	—	19,350
売上総利益	9,592	160	476	—	10,229
販売費及び 一般管理費	5,451	1,743	732	1,500	9,428
内、研究開発費	914	1,620	338	187	3,060
営業利益	4,140	▲1,583	▲256	▲1,500	800



【参考資料】

セグメント情報(連結) 2

単位(百万円)

	遺伝子工学 研究	遺伝子 医療	医食品 バイオ	共通	計
<12/03期>					
売上高	17,350	471	2,378	—	20,200
売上総利益	10,080	186	609	—	10,876
販売費及び 一般管理費	5,814	1,968	563	1,579	9,925
内、研究開発費	1,014	1,843	198	195	3,250
営業利益	4,265	▲1,781	46	▲1,579	950
<13/03期>					
売上高	18,493	591	2,465	—	21,550
売上総利益	10,768	235	695	—	11,699
販売費及び 一般管理費	6,176	2,209	571	1,641	10,598
内、研究開発費	1,114	2,088	197	200	3,600
営業利益	4,591	▲1,973	123	▲1,641	1,100

TaKaRa The Biotechnology Company™

【参考資料】

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発

	対象疾患	提携先	現状・今後
HSV-TK遺伝子治療 (ドナーリンパ球輸注療法) (治験)	再発 白血病	国立がん研究 センター中央病院	・2008年10月に第1相臨床試験開始 ・2011年度に終了予定
HSV-TK遺伝子治療 (ハプロタイプ一致造血幹細胞移植後の ドナーリンパ球追加輸注療法) (臨床研究)	造血器 悪性腫瘍	国立がん研究 センター中央病院	・2009年12月に臨床研究開始 ・2012年度に終了予定
TCR遺伝子治療・wtMA24 (臨床研究)	食道がん	三重大学医学部	・2009年8月に臨床研究を開始 ・2012年度に終了予定
TCR遺伝子治療・siMA24(RN-T) (臨床研究)	食道がん	三重大学医学部 等	・2012年度に臨床研究を開始予定
TCR遺伝子治療・siWT24(RN-T) (臨床研究)	脳腫瘍 造血器腫瘍 大腸がん	三重大学医学部 等	・2012年度に臨床研究を開始予定
MazF遺伝子治療	HIV	ペンシルベニア大学	・米国での臨床試験を2011年度に開始予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球療法 (臨床研究)	食道がん、 卵巣がん等	三重大学医学部 等	・2008年3月に臨床研究を開始 ・2011年度に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球療法 (臨床研究)	肝細胞がん	京都府立医科 大学	・2010年7月より臨床研究を開始予定 ・2015年度に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球療法 (臨床研究)	難治性がん 肝細胞がん	天津医科大学 中山大学	・天津医科大学、中山大学で有償治療の申請済み。 細則の公表待ち。

TaKaRa The Biotechnology Company™